

ピンピン☆きらい



私たち市民会議のメンバーが見つけた「ピンピン☆きらい」を紹介します。

今回紹介する活動はどれも、笑顔がいっぱいの活動となっています。私たち市民がみんな笑顔で生活できれば、この山県市はもっともっと住みやすく、またずっと住んでいたいと思える地域になるのかもしれませんがね。あなたの地域の「ピンピン☆きらい」をぜひ探してみてください。

そもそも「ピンピン☆きらい」って何だ？と思っているあなた！これを最後まで読めばわかります。

活動紹介は2ページからですが・・・やまがたの自慢はほかにたくさんあります

山県市には、めずらしい植物もたくさん生息していることをご存じですか？山歩きが大好きな市民会議メンバーのひとりが、こんな植物を紹介してくれました。

イワカガミ

「イワカガミ」は高山の岩場に咲き、葉っぱが鏡のような光沢があるために名付けられたと言われている高山植物である。私の住む大桑地区の里山にはカタクリ、ミノシライトソウ、トンボソウ、シュンラン、シソバタツナミ、ヤマジノホトトギス等、多種多様な植物とともにこのイワカガミも生息している。私は「ここ大桑は、低地におけるイワカガミ植生の境界線である。」と思っている。



しかし、境界線にあるが為に気温に敏感で、近年の温暖化で残念なことに減りつつある。多種多様な植生を生み出す里山をみんなで守っていくことは、私たちの義務のひとつではないだろうか。

活動紹介① ～いつまでも笑顔でいきいきと～

身近な地域でふれあいの場をつくりましょう

美山片狩地区「やまびこサロン」

平成16年7月から毎月第2木曜日、公民館で家庭にある漬物等を持ち寄って“ガヤガヤワイワイ”時には困りごとみんなて相談、半日楽しく「ふれあいサロン」が開かれています。



「ふだん近所に住んでいても会う機会が少なく、顔を合わせることが楽しみ」と皆さんイキイキとした笑顔がとても印象的でした。

住み良い地域をめざして「助け合いの活動」を広がていきましょう! まとめ：西村 覺良

☆サロン設立のきっかけ

支援者の山口のり子さんが、「片狩地区には独居の方が多く引きこもりにならないか心配!」ということからふれあいの場づくりをはじめられました。

☆やまびこサロンのいいところ

1. 会の名前をみんなで決めた!

みんなで「やまびこサロン」と名前を決めました。

2. とにかく無理をしない!

月に1回お茶を飲みながらのんびり話をする場とすることで、長続きしているとのこと。

3. 安否確認・問題発見

ふれあいサロンに参加されることで、高齢者の方の安否確認や問題発見につながっています。

高齢者が元気でいきいき集う場といえば、「いこいのひろば」もありますね。

高富児童館 いこいのひろば

「いこいのひろば」は、健康チェック、作品づくり、ゲームなどのプログラムが毎回用意され、住み慣れた地域で生きがいをもって暮らせるよう支援しています。

この日は16名の会員が参加、指導員さんのやさしい言葉かけ、実に楽しい雰囲気と和気あいあいと過ごしていました。また、楽しさ、真剣さの中に会話が弾み、自然に手足が動き、頭も使いながらと本当にいきいきと活動されていました。

調理実習と買い物や遠足、発表会などの外出が最大の楽しみです。

幼児や小学生との交流があり、楽しさいっぱいです。



みなさんの声からもとても楽しまれている様子が分かりました。

いこいのひろばスタッフからは、「参加者の要望も取り入れながら、臨機応変に活動を行なっています。徒歩や自転車で行ける近くの公民館でやっていますので、ぜひ一度みなさんも見学に来てください。」とメッセージをいただきました。

みんなと一緒に楽しく、自分の生きがいづくりを始めてみませんか?

まとめ：小栗 卓郎

地域のみんなで健康づくりと仲間づくり

どんぐり会と里芋会員

美山地域の青波地区では約3年前から「NPO 法人どんぐり会」のよびかけで、地域の方が耕せなくなってしまった畑を使った里芋づくりが行われています。現在は代表の木村邦次さんの他3名の里芋会員がみえ、協力して手入れをおこなってみえます。



今年は猛暑で日照りが続き“水やり”と、“虫の駆除”が大変だったそうです。

NPO 法人どんぐり会では、市内の子どもたちに収穫作業や草取り作業などを手伝ってもらっています。

地域の大人と子どもが農業体験をとおして交流する大変いい機会となっています。

「収穫した里芋を秋に行う芋煮会で地域のたくさんの方に食べていただけることが大変うれしいです。また、お金にはならない里芋づくりではありますが、健康づくりと仲間作りが一番の目的です。」



昨年度の収穫作業の様子
(NPO 法人どんぐり会 HP より)

最近、市内でも休耕田があちこちで見受けられます。環境を守るという面からも木村さん達のように地域の仲間で休耕田を利用し、地域の皆さんに喜んでいただけるよう、市民の力で田畑を守っていくとよろしいですね。

まとめ：山田 治雄

◎市外にはこんな活動も ～関市シルバー人材センター「とんてん館」の三世代交流～

関市本町の「とんてん館」は、子育て支援を軸に、シルバー人材センター会員の手作り小物展示販売やコーヒー等のサービス、野菜販売などをしてみえます。

この「とんてん館」が全国的にも注目されているのは、三世代交流です。「子育てばあば」と呼ばれるスタッフが常駐し、ママやその子どもたちと交流や、子育てばあばによる編み物教室、子どもの一時預かりサービスなどを行なっています。その他、出張託児、産前産後のヘルパー活動もされており、多様で先駆的な子育て支援サービスが実施されています。

先日当方主催のセミナーのなかで子育てばあばの石井さん（73歳）は「ママとの交流で気をつけているのは、こちら側が意見やアドバイスをせず聞き手になること。」と話してくださいました。「ストレスはたまりませんか？」との質問に対しても、「ママさんにリフレッシュして帰ってもらいから。」とやさしい笑顔で答えてくれたのがとても印象的でした。

まとめ：NPO 法人 Kaba's Fam 木村 麻理



関市シルバー人材センターHPより

NHKハートフォーラムが山縣市にやってくる！！

日 時：平成23年3月21日（祝）14:00～17:00

場 所：文化の里花咲きホール（山縣市洞田 127-135）

テーマ：ボランティアで明日が変わる！

【総合司会】NHK 岐阜放送局 牧山あゆみキャスター

【スケジュール】※都合により時間・内容が若干変更になる場合があります。

14:00 開会

14:15 地域福祉推進キャラクターお披露目

14:30 第1部 活動紹介「ボランティアの力で地域を元気に」

15:30 休憩

15:45 第2部 講演「少子高齢化『共に助け合うまち』をつくるために」
社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇 氏

17:00 閉会



大阪ボランティア協会
早瀬 昇 氏

【第1部】活動紹介 ～ボランティアの力で地域を元気に～

市内で活動を行うボランティアの方の取り組みを聞き、ボランティア活動をもっと身近なものに感じていただければと思います。

（発表者）

○ボランティアしゃくなげ
代表 大沢 登美子 さん



○扇町山歩会
代表 柘植 克實 さん



（アドバイザー）

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇 氏

（コーディネーター）

中部学院大学短期大学部 准教授 大井 智香子 氏

【第2部】「少子高齢化社会 『共に助け合うまち』を作るために」

少子高齢化の本市にとって、市民が共に助け合う『共助』のまちづくりが今後さらに必要となってきます。『共に助け合うまち』を作るために、自分にできることを考えてみませんか？

【お申込み】

☆平成23年3月3日（木）までに、TEL、FAXまたはEメールで、①住所、②電話番号、③名前、④希望人数（4人まで）を山縣市社会福祉協議会（右記）までお申込みください。応募者多数の場合は抽選となります。入場は無料です。

※個人情報整理券発送事務に使用いたします。

平成23年2月 第1号発行

山縣市地域福祉推進市民会議（広報・啓発グループ）

事務局：社会福祉法人山縣市社会福祉協議会

〒501-2259 山縣市岩佐 1177-1

TEL: (0581)52-3010 FAX: (0581)52-2941

HP: <http://www.y-shakyo.or.jp/>

Eメール community@y-shakyo.or.jp

「ピンピン☆キラリ」…いきいきと、笑顔がかがやいている「人」「活動」「地域」。略して「PPK」。コロリと逝くのではなく、キラリと生きましょう！PPKがたくさんあるステキなまちづくりをしませんか。